

1. 科目名 (単位数)	社会調査法 (2単位)	3. 科目番号	SSMP2107 SNMP2307 SCMP2307 SBMP2107 PSMP2407
2. 授業担当教員	鄭 春姫		
4. 授業形態	講義、小テスト、ディスカッション、調査方法に関する実習	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	<p>本講義は国が定める社会福祉士および精神保健福祉士の養成カリキュラムにおける「社会福祉調査の基礎」(旧カリキュラムでは「社会調査の基礎」)に対応するものである。本講義では、社会調査および社会福祉調査の基礎的事項を学習するが、社会福祉調査は社会福祉領域での社会調査のことであるため、本講義の内容の多くの部分は社会調査に関するものとなる。</p> <p>社会調査の目的は、社会事象について現地調査を行い、データを収集して、調査結果から一般的な規則性を見出し、必要に応じて取るべき行動を定めようとすることである。現在、社会福祉など専門分野では、人々のニーズの把握や解決策を量的調査や質的調査に基づいて提案するなど科学的エビデンスが求められている。本講義を受講することにより、社会調査の重要性、世の中に氾濫する社会調査の真実や問題点、社会福祉領域における社会調査の活用法について把握することが可能となる。</p>		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1.社会調査・社会福祉調査の意義と目的について理解し、説明できるようになる。 2.社会調査と社会福祉の歴史的関係について理解し、説明できるようになる。 3.社会調査・社会福祉調査における倫理や個人情報保護の留意点について理解し、説明できるようになる。 4.量的調査と質的調査の方法および調査の結果について適切に理解し、説明できるようになる。 5.仮説設定→質問項目作成→現地調査→データ分析→分析結果の発表という調査の流れについて見通しを持てるようになる。 6.ソーシャルワークにおける評価の意義と方法について理解し、説明できるようになる。 7.社会福祉士・精神保健福祉士国家試験受験に必要な基礎知識について説明できるようになる(受験予定学生の場合)。 		
9. アサイメント(宿題)及びレポート課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学習の理解度を確認するために、課題を授業内で複数回行う。 2. 授業の進行状況に応じて不定期に指示する。 		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 橋本有理子編著『最新・はじめて学ぶ社会福祉 5 社会福祉調査の基礎』ミネルヴァ書房、2021。 *授業中に適宜資料を配布する。</p> <p>【参考書】 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編『最新 社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座 5 社会福祉調査の基礎』中央法規出版、2021。</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.社会調査・社会福祉調査の意義と目的について理解し、説明できるようになったか。 2.社会調査と社会福祉の歴史的関係について理解し、説明できるようになったか。 3.社会調査・社会福祉調査における倫理や個人情報保護の留意点について理解し、説明できるようになったか。 4.量的調査と質的調査の方法および調査の結果について適切に理解し、説明できるようになったか。 5.仮説設定→質問項目作成→現地調査→データ分析→分析結果の発表という調査の流れについて見通しを持てるようになったか。 6.ソーシャルワークにおける評価の意義と方法について理解し、説明できるようになったか。 <p>○評定の方法</p> <p>小テスト 40%</p> <p>授業の態度や内容の把握など 30%</p> <p>レポート、調査方法に関する実習 30%</p>		
12. 受講生へのメッセージ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 講義・演習とも積極的に取り組み、提出物は必ず期限内に提出してください。 2. 机上に携帯電話など教材以外のものを置かないこと、私語や居眠り等、他学生の学習の妨げになるようなことは慎んでください。 3. 不明な点は質問し、解決できるようにしてください。 4. やむを得ず遅刻・早退・欠席をする場合は、授業内で配布されたプリントを取りに来て下さい。授業中の私語、携帯電話の使用は禁止します。 5. 授業内容を理解し、復習をして筆記試験や期末試験に臨んでください。 		
13. オフィスアワー	別途通知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション	事前学習	シラバスに目を通しておくこと。
		事後学習	授業内容を、自分の言葉で整理し、次の授業に提出する
第2回	社会福祉調査の意義と目的、社会福祉調査の変遷	事前学習	教科書第1章、第2章を熟読し、分からない言葉について調べておく。
		事後学習	社会福祉調査の意義について説明できるようにする

第3回	統計法	事前学習	教科書第3章の1・2を熟読し、分からない言葉について調べておく。
		事後学習	基幹統計と一般統計の違いを、自分の言葉で整理し、次の授業に提出する
第4回	社会福祉調査における倫理と個人情報保護（マナー・心構えと倫理）	事前学習	教科書第4章1・2・3を熟読し、分からない言葉について調べておく
		事後学習	社会福祉調査の種類について説明できるようにする
第5回	量的調査の意義と目的	事前学習	教科書第6章1・2を熟読し、分からない言葉について調べておく。
		事後学習	量的調査の留意点を説明できるようにする
第6回	量的調査の種類と方法	事前学習	教科書第7章の1・2を熟読し、分からない言葉について調べておく。
		事後学習	量的調査の種類と方法について、自分の言葉で整理し、次の授業に提出する
第7回	調査票の作成方法と留意点	事前学習	教科書第8章を熟読し、分からない言葉について調べておく。
		事後学習	調査票の作成時の留意点を、自分の言葉で整理し、次の授業に提出する
第8回	調査票の配布と回収、回収後の作業	事前学習	教科書第9章を熟読し、分からない言葉について調べておく。
		事後学習	配布・回収方法の種類について、自分の言葉で整理し、次の授業に提出する
第9回	量的調査データの集計と分析（1）データの集計	事前学習	教科書第10章の1・2・3を熟読し、分からない言葉について調べておく。
		事後学習	授業内容を、自分の言葉で整理し、次の授業に提出する
第10回	量的調査データの集計と分析（2）データの視覚化	事前学習	教科書第10章の4を熟読し、分からない言葉について調べておく。
		事後学習	データの視覚化できる方法を、自分の言葉で整理する
第11回	質的調査の意義と目的	事前学習	教科書第11章を熟読し、分からない言葉について調べておく。
		事後学習	演習課題を作成し、次の授業で提出する
第12回	質的調査一面接法・観察法	事前学習	教科書第12章を熟読し、分からない言葉について調べておく。
		事後学習	面接法と観察法の概要を自分の言葉で説明できるようにする
第13回	質的調査のデータ整理と分析方法	事前学習	教科書第13章を熟読し、分からない言葉について調べておく。
		事後学習	授業で提示した演習課題を作成し、次の授業で提出する
第14回	ソーシャルワークにおける評価①意義・対象・枠組み	事前学習	教科書第14章の1・2・3を熟読し、分からない言葉について調べておく。
		事後学習	授業内容を、自分の言葉で整理し、次の授業に提出する
第15回	ソーシャルワークにおける評価②評価方法・まとめ	事前学習	教科書第15章の1・2・3を熟読し、分からない言葉について調べておく。
		事後学習	授業内容を、自分の言葉で整理する
期末試験			